

誌上行学講習会

高佐日煌上人

つ達つあ人昔つを治り我き無がば明ら自行の意が宗倫
 つにたつ間はつ發、^(三)「教理」、「(三)」道徳、自主自由の活動を求めることが、
 あよわたの法はあ達教、^(四)「本文学」、「出版本」に開する文化を發達させ
 るっけ。言律るさ育、^(五)「文間」、「出版」に開する文化を發達させ
 わてででうなーせ、^(六)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 わけ、すす事ど^(七)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 で除か、^(八)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 ありそらそつ^(九)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 にれ安れて^(十)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 ます。完ら心が無^(十一)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 す。全もしそい^(十二)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 で人てのよう^(十三)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 は間住まう^(十四)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 のめまな^(十五)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 い願る法もの^(十六)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 しすいにで^(十七)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 てるうなあ^(十八)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 も熱世る^(十九)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 大意のとた。^(二十)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 変と中い^(二十一)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 改文でう力^(二十二)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 善化は状の^(二十三)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 さのな態強^(二十四)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 れ發かでい^(二十五)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ

よか一さ々つのの でう 宇でがわつの代れ り特よ人盾違な化人をに
 うも歩れ先か一時こいも月宙、とれく北にて進まにう類のしるを類頭前一
 し前、祖み途間んるのの旅月にまり京はい化せ我に全為たが発全現進四、
 れ進多のとをがなのも世行のかすと人角ま論ん々、^(一)「體」と「達体」する人
 ます少努るたかわで出界も世く。いののすに^(二)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 せる寿力ことかけあての夢界今着うミある日たが
 人と命ととりるでり来土でま日るこイる日本が
 人を、が、の全ままで地なでにもとラ人本が
 死間延文出いで体よた売とけんなあみが記ば猿
 なのは化來つあるのう。りいるたどりる存や猿
 い細すのるのり場月だうと「はまと在古か
 生胞と日ま合のすとい文ハす、し事ア
 命老こ展確かしかも世もこう化ダ。確た記ミ
 夢をまよすなう見る、世のろのの力たかそに一
 防でつるながると、地あであ達然穴當でれ
 はぐ来てのい、と、たしはるはあはばが
 な原まビで生文、主ればてまおあ住のり神祖
 い理しタあ命化とをたミりをは必か
 え見、がすっすに^(三)「人間」、「出版」に開する文化を發達させ
 ますも發、き發久見そま本し。ろたた間五天だ
 う見我り展久を夢見そま本し。とは万皇と言
 えますも發、き發久喜を夢見そま本し。とも猿年の言
 う見我り展久を夢見そま本し。に程れいそ前時は

以下次号に続く